

2020年3月9日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

千葉県への寄付の実施

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、千葉県（知事：森田 健作）の防災活動を支援するため寄付を実施します。

このたび、千葉県庁にて寄付の贈呈式が執り行われましたので、報告いたします。

1. 背景・経緯

- ・ 損保ジャパン日本興亜と千葉県は、平成29年12月27日に「千葉県の地域防災力向上に関する包括連携協定」を締結し、防災・減災に資する活動を連携して行っています。
- ・ その一環として、平成31年4月～令和元年9月に、販売件数に応じた金額を寄付することとした『ちばの火災保険*』を販売し、このたび、寄付金額が決定しましたので、千葉県に贈呈しました。

※『ちばの火災保険』とは

- ・ 千葉県内でリスクが高いと想定されている地震・水災を補償の対象とした火災保険です。千葉県にお住まいの方への自然災害の啓発と、寄付を通じて千葉県の防災力向上に貢献する目的で販売しました。
- ・ 取組に賛同した販売代理店（99店）と損保ジャパン日本興亜でそれぞれ寄付を実施しました。

2. 寄付金額

合計：700,000円

内訳：販売代理店 308,600円

損保ジャパン日本興亜 391,400円

3. 贈呈式

3月6日千葉県庁で寄付金の贈呈式が行われました。



写真左：千葉県防災危機管理部部長

岡本 和貴 氏

右：損保ジャパン日本興亜 執行役員千葉本部長

村木 正大

4. 今後について

令和元年度は台風による災害が各地で発生し、平時における防災・減災の取組の重要性が一層認識されることとなりました。

損保ジャパン日本興亜は、引き続き千葉県と連携し、地域防災力の向上に貢献してまいります。

以上